

河辺林通信

建部北町の森から

2019年9月号 №.257

↑水辺付近で咲き誇る真っ白なセンニンソウ

かんぽ生命さんからのご寄付

今年も暑い夏が終わりそうですが、皆様体調はいかがでしょうか？そんななか、アツいニュースです。なんと今年度もかんぽ生命さんから100万円の寄付をいたただけることになりました。昨年度から初めていただいているもので、今年で2年目となります。

この寄付金は、かんぽ生命さんの環境保全活動の一環で「ご契約のしおり・約款」のWEB閲覧数に応じて、森林の育成に取り組む環境保護団体への寄付を行うというものです。

なにせこちとら弱小NPO法人。最近一番の悩みは、小学生たちが「ここで働きたい！」と言っても、待遇面から「う～ん」とくなってしまうというもの。そんな団体にとって寄付は本当にありがたいものです。

しかも、助成金と違って特定の事業に費用を使わなくても良い、つまり里山保全活動自体に使えます。遊林会でいえば、昨年度は年間45回、678人分のボランティアさんへの保険料、食事代、ガソリン代、ノコ、ナタなどの消耗品などに使えるのです。

事務局としては、この20年間、市民の力で取り戻した豊かな里山を、みんなの共通資本として後世に引き継いでいくというミッションがあります。しかし、里山という、人との関係が切れない自然を守るには資金が必ず必要です。今後も黄金色をした二匹目のドジョウを捕まえ続ける必要があるのです。

今回の寄付でこの森に、それだけの価値があることを証明しないといけません。難しいミッションです。

4回目のモリイコ！とモリイコ！Sは？

4回目のモリイコ！は、染色です。

今回はいつもの活動とは違い、午前中は森たんけんへ行かずに染色をしました。染色は森の中の植物を使います。セイタカアワダチソウ・クズ・スギの3種類を使います。それぞれ黄色・緑・ピンクになるので、染めたい色を決め取りに行きました。そして、細かくして煮詰めていきカバンを染め、乾かすために干しました。



↑クズを引っ張る

4回目のモリイコ！Sは、合同での活動です。

今回は「カニのお家を作ろう！」ということで森たんけんでは、カニとカニの家の素材を取りに行きました。

午後は、水の中のいきものつかみをしました！

モリイコ！でも経験していますが、暑い日だったのでみんな楽しそうにいきものつかみをしていました！

最後は、つかまえたいきもの達を水槽に入れて小さな水族館に。お迎えに来たお父さんは、「ここにはタイコウチいるんだ。家の周りにも昔はいたんだけどなあ」と子どもと一緒に眺めていらっしゃいました。親子一緒に水槽を眺めている姿は、とても微笑ましかつたです！



↑水辺のいきものつかみ



↑カバンを持って集合写真

●8月の作業だより

第2土曜日（8月10日） 23人

①炭詰め班

遊林会で焼いた炭を、炭窯から出してダンボールに詰めました。ダンボールに3kg詰めるのですが、大きい状態のままたくさん詰めなければならぬので、子どもたちは頑張っていました。

②草刈り班

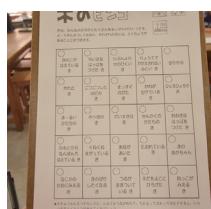
センター前の萌芽更新中の木の周りをカマで手刈りしました。ハギやミソナオシは残すため、刈らないようにするの大変でした。

③食事班

8月は恒例の田中さん特製やきそばです。暑い中たくさん焼いてもらいました。今年は中学生の男の子がやきそば作りに弟子入りしました。

観察会

8月の観察会担当は山北でした。今回は暑すぎない影の多いカシの林を歩こう！とまずルートを先に決定。カシの林は暗い森なので虫も花も少ないな…でも、木がいっぱいあるな！ということで、木をみる観察会にすることにしました。そこで用意したのが木のビンゴカード。25マスに書かれた「まっすぐな木」「穴があいた木」などを探します。よ～く見ていると、その木にとっても大きなクモの巣がかかっていて、光が当たるとキラキラ輝いていたり、セミの抜け殻がたくさんついた木を見つけたりいろんな種類のカマキリに出会えたりセミがクモの巣に引っかかり、もがいているところに遭遇したり…何もないかもと思っていた場所でしたが、ビンゴカードを持つことや何か探そうという気持ちで森を見れば、想像以上の発見をすることができました。



今はお散歩用のビンゴカードなどが書かれた本なども販売され図書館で借りることもできます。それがあれば普段見慣れている場所もまた新たな発見ができるかもしれませんよ！

編集後記

先日雨の後、最後の力を振り絞ったような声でゆっくりと鳴くミーンミーンの蝉の声を聞き、夏のおわりを感じました。夏の森の中では生き物たちが必死に生きている瞬間がたくさん見られます。産卵や羽化などもこの季節に多く、また夏を生き抜くために食事をするシーンや食事後の跡なども見つかります。命のたくましさや儂さを感じた夏でした。（山北）

第4水曜日（8月21日）

野鳥観察壁の周りの草を刈りました。暑い上にハチの巣があったり、大きな木が倒れたりと苦労しました。

また、河辺いきものの森の水を汲み上げているポンプが故障したため、月末に来訪する保育園のプログラムのために、カニを助けに行きました。

木ままクラブ（8月29日）

環境学習で使用する竹を伐りました。陽射しは少なかったですが、とても蒸し暑く、大変な作業でした。

インターン生が2人も来てくれたので、作業は渉りました。

お昼はそうめんでした。疲れた体でもとても食べやすかったです。

9月の活動日

9/5 (木)	草刈り
9/14 (土)	草刈り 森林整備
9/19 (木)	梵釈寺
9/25 (水)	草刈り 森林整備

朝9:00～（遅刻・早退可）
第2土曜日は、9:00より
1時間ほど観察会を行います

ハイハマボッス救出しました！

18年間、河辺いきものの森の川へ水を送り出していたポンプが故障してしまい、水の汲み上げがストップしてしまいました。浅い川は、すぐに干上がってしまい、近畿地方でこの森にだけ生息しているハイハマボッスの生存が危ぶまれるため、株を掘り上げ、移植し、ポンプの復旧までしばらく様子を見ることにしました。私達も初めての試みで心配ですが、大切に守ります！



ボランティアメンバー募集！

遊林会は毎月ボランティアを募って、河辺いきものの森の保全活動をしています。あなたも森のスタッフと一緒に、汗を流しに来ませんか？

作業だけでなく、観察会や美味しいお昼ご飯が待っています！詳しくは遊林会事務局までお問い合わせください。

ボランティアだけでなく

新規会員さんも募集中です！



【発行者】

特定非営利活動法人
里山保全活動団体 遊林会
代表理事 井田三良

〒527-0003
滋賀県東近江市建部北町531
河辺いきものの森内
電話：0748-20-5211
メール：ikimono@e-omi.ne.jp